

普段着で利用するフィットネスジム

～ GMSの新しい収益モデル ～

■総合スーパー（GMS）のイオンが、2017年3月に東京都江戸川区のイオン葛西店に直営の「イオンウエルネスラウンジ 3FIT（スリーフィット）」を開業しました。イオン葛西店は、55歳以上の集客を強化した戦略店舗で、3FITは、施設面積の半分を休憩スペースの「ラウンジ」に割いて、高齢者を中心とした近隣住民が、負担の軽いストレッチ用の機器を多く設置した施設に気軽に立ち寄ることを目指しています。

■イオンリテール（株）のスポーツ&レジャー事業本部によると、従来のフィットネスジムとの違いは、健康機器大手の（株）タニタと提携したシステムを利用していることです。従来のフィットネスジムでは、カード型の会員証を発行していましたが、3FITでは、非接触ICカード技術の「Felica（フェリカ）」を使い、万歩計がICカード型会員証の役割をし、施設に入館・退館する際には、会員証型の万歩計をかざします。これによって、万歩計で歩数を計測したデータや、施設内の血圧計や体組成計などを読み取り、月ごとの筋肉量や歩数データなどを管理し、月に1回健康管理や運動方法についてのアドバイスを行っています。



■3FITは、高齢者向けのフィットネスジムという目的から、ハードな運動を行うのではなく、トレーニングマシンも筋力増強用とストレッチ用のみを設置しています。利用者には、日々歩くことを計測する習慣や、健康を意識する習慣を身につけてもらうことを目指しています。また、施設の敷居を低くするという観点から、土足・普段着で来館できる施設づくりを行っています。

■3FITは、千葉県柏市のイオン柏増尾台店で試験的に開業され、現在は2店舗ですが、今後年間10店舗程度の展開を予定しています。なお、「高齢者向けのフィットネスジム」と言っていますが、入会は中学生以上で年齢制限はないとのこと。